

市事務事業の外部評価結果

～市外部評価委員会～

学識経験者と市民公募者で構成する市外部評価委員会（委員8人）は、行政経営システムの中で行っている事務事業のうち20の重点施策などを評価し、令和2年12月17日、市長に評価結果を報告しました。

評価に当たっては、全6回の委員会を開催し、担当課へのヒアリングや現地視察などを行い、各事務事業の取り組み状況の検証を行いました。

市は、この評価結果を今後の事務事業の改革・改善に反映していきます。

※行政経営システムとは、市のサービスや事務事業を継続的に改善する取り組みです。

●問い合わせ先 企画政策課（☎372132）

【評価結果】

評価	事業数
A= 必要かつ有効であり推進することが妥当	19
B= 改善を図りながら継続することが妥当	1
C= 一部修正・再検討が必要	0
D= 見直し・休止・廃止について検討が必要	0
合計	20

▽20の事務事業について「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行った結果は、上表のとおりです。
 ▽評価点数は、8人の委員が事務事業ごとに事業の妥当性や効率性などを5点満点で評価したものの平均です。
 ※20の事務事業を評価した結果の詳細は、4～6ページの表のとおりです。

【総評】

▽相馬市に住んでいる全ての市民一人一人誰もが、皆同じく健康で安心安全な環境で生活ができるよう、あらゆる施策に取り組みとともに、市民と行政が課題の共有に努め、市民目線に立つたきめ細やかな利用しやすいサービスを提供するため、各課間の情報共有などの組織改革をはじめとしたあらゆる手段を講じ、市民と共に考え、次世代に続く持続可能な共生社会を目指して歩んでゆける相馬市づくりに取り組んでください。

▽児童生徒の豊かな心の育成と学力向上のために、教育現場でのソフト・ハード両面の充実や効率的な運用を図り、デジタル社会に対応できる人を育てるとともに、

外部評価委員からひとこと

梶田浩二委員長

今期は新委員を5人迎えてタイトなスケジュールの中で現地視察やヒアリングを行い、新しい視点での評価ができたものと思っております。また、このコロナ禍の中、各課担当職員の方々には課題が山積して多忙にもかかわらず、多数の資料提供とヒアリングをしていただき心より感謝しております。それら資料を参考にしてA評価19事業、B評価1事業という評価結果となりました。総評にも記載しましたが、これからも、市民と行政が共に課題を共有しながら、将来の相馬のために行動を共にしなければならぬものと考えます。残りの任期も委員全員でしっかりと市民目線で評価したいと考えています。

に、妊娠期を含む子育て世代に対し、社会の変化に応じた手厚い対応を取るなど、相馬市独自の取り組みを実現してください。

▽市民の共有財産である相馬の歴史、伝統文化の保存継承に努めるとともに、歴史的財産について市民の意識を高めながら、後継者の育成に努め、関係するあらゆる団体と連携をし、相馬ならではのほかにない文化都市の形成を推進してください。

▽既存の観光資源を活かすことはもとより、新設された施設を有効活用し、宿泊施設との連携を密にしなが、市内外への丁寧な情報発信に努め、withコロナafterコロナを考えながら交流人口の拡大を図ってください。

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
1	震災・水防対策の整備	4.3	A	台風や豪雨などによるわずかな溢水でも避難が困難となることが想定されるため、河川改修ならびにポンプ車の配置、排水機場の整備と市街地の用水路の整備点検に努めてください。また、市民がハザードマップを十分に活用し、危険区域の情報をリアルタイムに共有できるようになることを望みます。併せて、市民一人一人の防災意識が高まるよう市全体での防災訓練を検討するなど、より一層の取り組みをお願いします。
2	災害公営住宅の払い下げ	4.6	A	時代とともに被災者のニーズも変化しており、災害公営住宅に居住する全ての方が安心できるように多面的なサポートと計画的な事業の進ちょくをお願いします。
3	安心して子育てができる環境づくり	3.9	B	少子化が進む中、いかに子育てしやすい環境をつくるか、妊娠期から学齢期も含めた幅広い相馬ならではのきめ細やかな施策の検討をお願いします。また、相馬市保育士等奨学資金貸与制度は、保育士・幼稚園教諭の希望者を後押しする仕組みとして有効であると考えますので、申込時期などを含めた柔軟な相談体制と十分なPRをお願いします。

※5ページに続く



外部評価結果を立谷市長に渡す評価委員

小畑強子委員

行政と市民が互いに確認しあうことで程よい緊張感が生まれ、一般市民としては、より深く行政の事業に対して取り組む姿勢を理解することができました。また、ある講演会で、持続可能な社会構築があらゆる場所から求められているという講演を聴き、あらゆる立場の人たちが幸せに暮らし、子どもたちに未来をつなぐため、持続可能な社会とは何かを考えてみたいですね。

伊東千恵子委員

新型コロナウイルス感染症拡大防止策を取ったの委員会となりました。各課担当者の皆さまには、資料提供に協力をいただき感謝します。

人口の減少、少子高齢化社会などの問題もあり、市の財政も逼迫（ひっばく）していると思います。予算内での事業推進には限りがありますが、市民の皆さまが相馬市に住んで良かったと思われる施策をこれからも実施してください。

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
4	確かな学力の育成	4.5	A	今まで実施してきた施策により一定の成果が出てきていることから、今後も生徒の持っている潜在能力を引き出すような新たな施策を検討するとともに、教員の負担増加にならないように適正な労働環境の整備をお願いします。また、福島県のみならず、全国の取り組み事例も参考にしながら相馬市独自の効果的な取り組みをお願いします。
5	学校施設の整備と充実	4.7	A	学校施設の改修は、全ての小・中学校で終了したものとありますが、学習環境の整備は学習意欲の向上の一つの要因となるので、生徒が快適な環境で学習できるように、時代に合った計画的な設備導入や施設改修を行うとともに、学習環境の維持管理に努めてください。
6	情報教育の充実	4.5	A	ハード機器を使いこなすことが目的とならないよう、子どもたちの思考力と創造力を高めるようなアプリを取り入れ教育効果が上がるように努めてください。また、先進的な取り組みを参考にしながら、指導者となる教員の育成と家庭での取り組みができるような措置の検討をお願いします。
7	農産物の安全性のPRと地産地消の推進	4.2	A	地産地消を積極的に推進することが市外へのアピールにつながるため、市民の方への消費喚起を促し、購入したいと思った方が容易に購入できるよう、そして常に丁寧に情報提供するように努めてください。
8	森林・里山整備の推進	4.2	A	森林里山整備は、森林の再生だけではなく、再生可能エネルギー発電などの開発とも調和を図りながら森林の保全に努め、治水や海洋環境保全にも密接に関係するため、それぞれの関係機関と連携しながら事業の推進をお願いします。
9	安全で安心な水産物の提供と供給（復興市民市場整備事業など）	4.5	A	「浜の駅松川浦」を風評払しょくのためにも積極的にPRして、継続してお客さまに足を運んでいただけるように特色のある商品を取り扱うなど工夫に努め、周辺の観光施設との連携を図り、安全で安心な水産物の提供と供給に努めてください。
10	商店街の活性化	4.1	A	商店街活性化のためには、当事者がアイデアを出し、自治体がそれを後押しするのが理想であると考えますので、商工会議所など関係団体と協議、協力しながら事業を推進してください。また、プレミアム商品券に依存しない新たなまちなか活性化のため、人を集めるイベントの開催などの検討をお願いします。
11	観光産業の振興	4.2	A	沿岸部の環境および施設だけではなく、相馬の歴史を含む全ての観光資源をどのように活用していくのか、関係団体と協議し、将来を見据えた施策を検討してください。千客万来館の場所が分かりづらいため、市内各所へ案内を設置することを検討していただくとともに、観光案内所としての内容の充実に努めてください。
12	歴史伝統文化の保存伝承	4.0	A	相馬地方における行事や民謡の継承、伝統文化の後継者の育成など課題は山積していると考えます。伝承すべき文化が多岐に渡っているため、それぞれ次世代につながるような計画性をもった事業の推進をお願いします。
13	スポーツ施設の維持管理と利活用の促進	4.4	A	相馬市にしかない施設となるようそれぞれの施設を整備・維持し、交流人口の拡大に努めてください。また、通年で利用できる利便さを市内外に情報発信することはもとより、スポーツ団体や学校関係に積極的なアピールをするようにお願いします。
14	ごみの減量化・再資源化	4.6	A	SDGsの観点からごみの減量化・再資源化が重要課題の一つとして挙げられる中、ごみの減量化が市の経費節減になり、それにより新たな市民サービスの創出につながっていくことを市民に理解してもらえるように説明しながら事業の推進をお願いします。

※ 6 ページに続く

高橋良二委員

今年から委員となり20事業の評価に参加させていただきました。どれも相馬として必要な事業であり、それを市役所の皆さんが行政としてどのように進めていくかを真剣に検討されていることが良く分かりました。今回の事業が実現することで市民の皆さんが相馬をもっと愛し市民であることに誇りを持つることの一助になることを期待しています。

村上将臣委員

本年度より外部評価委員会に参加させていただいております。20の事業に対して市職員の方々から説明を受け、質疑などを経て評価をさせていただきました。評価全体としては、良好なものでありましたが、さまざまな課題や問題点が浮き彫りとなりました。市民が安全安心に生活が出来るよう着眼大局、着手小局の精神で事業に取り組まれることを期待いたします。私も一市民としてより良い相馬のために意識を高め行動してまいります。



外部評価委員による教育現場（中村第二小学校）の現地視察

西村昌也委員

今年度から外部評価委員会へ参加させていただき市職員の皆さまより市の事業に対しての説明や委員会に参加することで私自身が相馬市に目を向けていないことに気付かされました。IoTを活用した学校教育の先進化、商店街の活性化など「行政と市民が平等に情報の共有を行う」ことが必要だと感じました。私もまずは近い身内と所属団体に情報の共有を行います。来年度も市民と行政が一体になって進んで行けるように評価を行っていきます。

荒孝夫委員

未曾有の大震災被害の復興事業を抱えながらも停滞を許されない一般行政と水害対策などを対象として20事業を評価いたしました。委員が求める多くの資料提供には感謝申し上げます。委員会を通して感じたことは、たくさん情報が市民に正確に提供されていないのではないかということです。この状態は市民が市政に参画できる機会を逸するばかりか市行政に対する意識の低下を招く恐れがあると痛感いたしました。一つでも良いから外部評価の結果が市行政に反映されることを願っております。相馬市に住んで良かったと思えるよう市民一人一人が細やかなことでも良いから行動することも大切であると思いました。

高田美奈委員

今年度より外部評価委員をさせていただき、市が取り組んでいる事業について知ることができ、またその多さに驚かされました。20事業について、詳細な説明・質問への回答をしてもらい、ごみ減量化など、一市民の私にも出来ることがあると思えました。課題を行政と市民が共有し、共に取り組み、相馬市が更に住み良い市になるよう期待しています。

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
15	放射線教育	4.6	A	放射線を正しく恐れ賢く避けるために、市民の方への教育を確実に実施するとともに、さらなる情報発信をお願いします。また、相馬へ訪れた方や転入者に向けた冊子などの充実への取り組みも検討をお願いします。
16	ワンストップサービスでの無料困りごと相談・法律相談	4.4	A	相談者が気軽に相談できるようプライバシー保護の観点を重視し、引き続き事業の推進をお願いします。また、ウェブ形式での相談など、既存の形式にとらわれない相談方法の検討をお願いします。
17	高齢者への保健・福祉サービスの提供	4.6	A	自立支援のみではなく共助も大切と考えますので、きめ細やかな情報提供や高齢者の方々が利用しやすいサービスの提供を心がけ、安心して生活できるよう、引き続き事業を遂行してください。
18	交通弱者・買い物弱者への支援	4.5	A	交通・買い物弱者の支援策として必要な事業だと考えますが、事業ありきではなく、利用する方の目線に立った運用を検討し、事業の推進をお願いします。
19	橋りょう・トンネル等の点検・維持管理	4.6	A	橋りょうやトンネルなどは、市民生活に直結しているので、日々の点検や計画的なメンテナンスを形骸化せず実施することが経費節減につながり、長期的に重要な事業となります。今後も安心で安全な社会生活を送れるように点検・維持管理をお願いします。
20	災害危険区域の土地利用（尾浜こども公園の利活用など）	4.7	A	災害危険区域の公園などは、災害発生時の利用者避難や地域住民による避難誘導まで考えて事業を推進してください。また、「復興のシンボル」として多くの市民が利用できるよう周知し、周辺の各施設との連携した活動の取り組みが生まれることを期待します。併せて、利用者に対して安全面のガイドラインなどを作成するとともに、公園遊具をはじめ、メンテナンスを適切に行い、快適な公園の維持に努めてください。